

毎週の道徳の時間では、資料を使っていろいろな価値について考え、授業の最後には、自分なりに1時間の中で考えたことや思いをまとめています。

それぞれの授業の取り組みや、授業の感想を学級や学年を超えて知ることができたら、生徒の皆さんは自分の考えを一層深めることができると思います。また、本校においてどんな道徳教育が行われているのかを「道徳だより」を通してお知らせすることで、保護者の皆様に子どもたちの思いを紹介することができますし、家庭との連携も深められると思います。そのような考えから「道徳だより」を発行していくことにしました。生徒の皆さんは、この「道徳だより」を通じていろいろな考えに触れ、自分の考えを深めてください。また、ぜひ、家族でその題材について話し合う時間を設けてください。

今月は、5/1(木)の授業参観で行われた1年生の授業を紹介します。

★ 5/1の道徳…

【資料】『母の誘い』（彩の国の道徳）

【概要】



主人公は人のために尽くすことや、働くことが大好きな中学生の彩香。尊敬する母の「人様のために尽くしなさい。」「世の中で最も尊いものは人に対する『優しさ』だ。」という教えから「優しさ」の心を持って人と接することのできる人間になりたいと考えている。院内学級や特別養護老人ホームの活動で苦悩する彩香が、母の言葉を通して、これまでの自分の「優しさ」の行為が“自分本位の考え”であり、知らず知らずのうちに見返りや感謝の言葉を求めていた自分がいたことに気づいていく。そして、“思いやり”は決して一方的な独りよがりのもではなく、「自分ならこうしてほしいだろうな」という思いを相手に届けることだということを悟っていくのである。

【おらい】

人間尊重の精神に基づき、他者の状況や立場を推し量りながら、思いやりをの心をもって人のために尽くそうとする態度を育む。

《授業の感想&授業を通して考えた“本当の思いやり”》

- この授業で、本当の優しさというのがわかりました。私は、今まで「思いやり」という言葉を色々な所で使っていたけれど、今日の道徳の時間で、本当の優しさ・思いやりというのを深く考えさせられました。私も、彩香さんみたいに色々なことに協力したり、ボランティアなどに積極的に参加し、「してあげる」ではなく、「したい」という気持ちを忘れずにしていこうと思います。
- 本当の優しさとは、自分から進んでやりたいという気持ちのことで、してあげるという気持ちでは相手も喜んでくれないし、自分もそこまで気持ちよくないと思う。
- 困っている人に声をかけたり、支えてあげたりして接したい。あと、思いやりは、「してあげる」ではなく、「したい」という気持ちなんだとわかった。私も、彩香ちゃんのようにしていきたいです。
- 今日の授業で感じたのは、心から人の役に立ちたいと考え、心から人を思いやることが「思いやり」

だということです。そのための『優しさ』は、その人のことを心から考えて行動し、尽くすことだと思います。だから、思いやりや優しさを心から考え、それらをもっている人は、とても立派で素晴らしい人だと思います。私も、そのような立派な人になっていきたいです。

- 『母の誘い』を読んで、彩香は「困っている人がいたら手を差し伸べる」と思っていたけど、そうではありませんでした。だから、僕も「してあげる」という気持ちではなく、「したい」という気持ちで人のために尽くしたり、誰に対しても優しくしたりしたいと思いました。
- 今日のテーマは、“思いやり”でした。自分は人のためになるには、ただ手を差し伸べるだけではだめなんだと思いました。相手の立場に立ってみて、どうしたら相手はうれしいか、どうしたら相手は喜ぶのかという“思いやり”を改めて感じ、考えました。
- 「人のためになることをしたい」と思うのが、本当の優しさだと思う。心から誰かのためにしたり、相手の気持ちを考えて行動したりすることだと思う。
- 私は、今日「本当の思いやり」について考えてみて、私が「思いやり」だと思っていたことが、「友達にとっては「本当の思いやり」ではないんだな」と思いました。これから、相手への気持ちを尊重し、その人の気持ちを考えて接していきたいです。
- 「本当の優しさ」とは、「したい」という気持ちで人のために尽くして、励ましの言葉や、「ありがとう」などを返してもらうことを全てにしないことだと思いました。
- 困っている人を見つけたら、“自分の意思”でその人を助けてあげる。でも、その人が自分でやると頑張っているのであれば、それを見守ってあげる。
- 私は、「母の誘い」を読んで、“人への優しさ”を学びました。これからは『本当の優しさ』をしっかり考え、たくさんの人に優しくしたいと思います。また、『思いやり』の気持ちを大切にしていきたいと思いました。これからは、「～してあげる」ではなく、自分から困っている人を助けたいです。
- 本当の思いやり、優しさは、「してあげている」というのではないことが改めてわかった。彩香さんは最初の方は「やってあげている」という考えだったけど、母の言葉を聞いて、本当の優しさに気づくことができたと思うので、私も、「してあげる」という考えではなく、「したい」という考えになれるようにしたい。

「思いやり」って…なんだろう？

相手のために行うことでも、そのときの状況やその人の気持ちを本当に考えているだろうか。相手からの頼まれて行うことでも、本当にそのことが相手のためになっているのだろうか。自分が相手の立場だったらと考えて、互いに支え合えたら、もっといい関係が築けるような気がする。

【『私たちの道徳』P55より抜粋】

【5月&6月の授業予定…】

●第1学年

資料名	ねらい
【5月】 命、今生きていること オーストラリアのマス川 長縄跳び	<ul style="list-style-type: none"> ・生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。 ・法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ、義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。 ・自己が属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。
【6月】 認められたクラブ 伝統文化に夢をもって 心のつながり 涼風	<ul style="list-style-type: none"> ・真理を愛し、真実を求め、理想の実現を目指して自己の人生を切り拓いていく。 ・日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。 ・友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。 ・温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。

●第2学年

資料名	ねらい
【5月】 本当に望ましい社会って みずぶさんへの手紙 白い花 償い	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の個性や立場を尊重しながら、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、広い心を持ち謙虚に学び合おうとする心を育てる。 ・人間が生きていけるのは、自然がもたらしてくれる恵みのおかげであることに気づき、自然の摂理を理解して自然への畏敬の心を深める。 ・人間としての自覚と誇りを持ち、自分のことは自分で考えて決断し、主体的に生きようとする心情を育てる。 ・人間の強さや気高さを信じ、人間として生きることの喜びを見いだす意欲を養う。
【6月】 人形作り 伝統で終わることなく伝説に わたし、あなたそしてみんな 伝言板	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な目標に向かって着実に努力する事が、やがて自信と勇気に通じることを理解し、粘り強く意欲的にやりぬこうとする態度を育てる。 ・学校の一員として支え、支えられていることに気づき、教師や学校を敬愛し、協力してよりよい校風を樹立しようとする思いを育てる。 ・活動の喜びと、自らの充実感としての奉仕を実践しようとする態度を育てる。 ・人との関わりの中で、暖かい人間愛と感謝、思いやりの心を育てる。

●第3学年

資料名	ねらい
<p>【5月】</p> <p>極限の救出劇</p> <p>よみがえった笑顔</p> <p>一針一針</p> <p>さわやかな笑顔</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を大切にしようとする心情を育てる。 ・勇気を持って公正・公平に接するように努め、差別や偏見のない明るい社会を築こうとする態度を育てる。 ・集団での自らの役割と責任を自覚し、友達と集団の向上に尽くそうとする態度を養う。 ・男女が互いの人格を認め、理解し合う正しい関係を築かせる。
<p>【6月】</p> <p>夢に立ち向かったバレー選手</p> <p>江戸しぐさは心のマナー</p> <p>チームQの絆</p> <p>宇宙の「なぎさ」にて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障害にくじけず、より高い目標に向かって希望と勇気を持って着実にやり抜く強い意志と態度を養う。 ・思いやりの心や周りへの配慮を大切に迷惑をかけない行動の仕方を身につけ互いに住みやすい社会を実現しようとする態度を育てる。 ・人それぞれの考え方や立場のあることを理解し、自らを振り返って、自己の反省と工場に生かそうとする態度を育てる。 ・人の力を超えた自然の偉大さに対する畏敬の念を育てる。